

区立幼稚園適正配置実施計画（案）に寄せられました

ご意見やご要望と教育委員会の考え方をお知らせします

教育委員会では、平成 17 年 4 月に策定した「区立小・中学校および区立幼稚園の適正配置基本方針」に基づき、平成 23 年 9 月に、「区立幼稚園適正配置実施計画（案）」を策定いたしました。9 月 27 日から 10 月 6 日にかけて各区立幼稚園における説明会を計 5 回開催し、実施計画（案）に対する保護者の皆様や地域の方々のご意見やご要望をうかがいました。また、説明会以外でも、幼稚園在園児の保護者等の皆様からご意見等をいただきました。

このたび、いただきましたご意見やご要望の要旨と、それに対する教育委員会の考え方をまとめましたので、お知らせいたします。

1 意見、要望の項目別件数

実施計画（案）に対していただきましたご意見等の項目別件数は、以下のとおりです。

項目	説明会	文書	メール	電話	計
実施計画の進め方	49	67	15	7	138
区立幼稚園の役割	15	22		1	38
適正配置の園数と選定理由	13	16		3	32
適正配置の方法	10	5	2		17
単学年になったときの対応	9	4	1	1	15
適正配置後の定員と抽選方法	10	4			14
私立幼稚園の受け入れ状況	3	2			5
跡施設の利用について	7	2			9
その他	3	2	1	1	7
計	119	124	19	13	275

2 意見、要望の提出方法別の人数等

提出方法	人数（人）	意見・要望（件）
説明会	延べ 168	119
文書	42	124
メール	6	19
電話	5	13

区立幼稚園適正配置実施計画(案)に対するご意見と教育委員会の考え方

ご意見・ご要望	件数	教育委員会の考え方
実施計画の進め方 (138件)		
(1) 案の公表が遅い。廃園時期を一年(以上)延期してほしい		
平成26年3月末廃園の適正配置実施計画であれば、公表が遅すぎる。これほど早急に区立幼稚園の適正配置をすすめるべきではないのはなぜか。私立幼稚園は満3歳の誕生日からプレ幼稚園が始まるし、私立幼稚園の説明会はほとんど終わっている。幼稚園選びは1～2年かけて進めるもの。あと数年、最低でも1年延期できないのか。	48	平成17年4月に策定した基本方針で、区立幼稚園の適正配置を進めることが示されています。平成23年度に具体的な実施計画案を検討し、在園児への影響をできるだけ避けるために、平成24年度新入園児募集前に計画案をお知らせし、平成26年3月をもって廃園することとしました。光が丘地区の区立幼稚園の充員率はここ数年減少を続けており、平成23年5月1日現在における光が丘地区4園の4歳児の充員率は37.8%という状況です。このことから、適正配置は急務であると考えています。
(2) もっと保護者や区民の声を反映してほしい		
もっと保護者の声、区民の声を反映してほしい。	33	平成24年度新入園児募集において、入園希望者が10名未満の場合でも学級編制を行うこととしました。単学年になったときの対応など、保護者の方のご意見を聞いていきたいと考えています。
(3) 案といいながら、もう決まっているのか。何のための説明会なのか		
案だと思って説明会へ参加したのに、ほぼ決定という説明だった。	13	案なので、変更がないとは言えませんが、変更できることとできないことがあります。廃止園や廃止の時期を変えることは難しい状況です。区として計画の内容を保護者の皆様にお知らせする必要がありますと考え、説明会を開かせていただきました。
(4) (来年度に単学年になる恐れがあるなど)入園時に聞いていない		
入園するときには、廃園になる予定があるなど全く説明はなかった。知らずに入園した現在の年少児は、来年度10名応募がなければ、単学年になってしまう心配がある。	16	適正配置が必要だという認識は、平成17年当時からありましたが、対象となる具体的な園については、平成23年度になってから検討して決めました。廃止予定園においても、保護者の皆様の不安解消のため、応募者が10名未満でも、平成24年度新入園児の学級編制を行います。
(5) 未就園児の保護者などに対して、もっと周知すべき		
区立幼稚園を検討している未就園児の保護者への周知を徹底してほしい。	8	区報、ホームページ、子育てのひろばびよびよや保健相談所などの区立施設における周知などにより、できるだけ広くお知らせしたいと考えています。
(6) 今まで、どのように検討し、説明してきたのか		
適正配置に関して、教育委員会で話し合ったのはいつか。(事務事業評価の)外部評価委員会に在園児の保護者は入っているのか。平成17年の基本方針以降、説明会は開かれたのか。	6	平成23年6月から具体的に検討してきました。教育委員会に対しては、6月、8月、9月に協議・報告しました。また、文教委員会に対しても、6月、9月(2回)報告してきました。事務事業評価の外部評価委員に区民の方も入っていますが、在園児の保護者としては入っていません。平成17年に基本方針を策定した際には、説明会ではなく、区報などに出して、パブリックコメントによる意見募集を行いました。その後、小学校の統廃合を行った際には、説明会を行いました。幼稚園の適正配置に関する説明会は今回が初めてです。

区立幼稚園適正配置実施計画(案)に対するご意見と教育委員会の考え方

ご意見・ご要望	件数	教育委員会の考え方
(7) 今後の進め方		
計画案が正式に決定するのは、いつごろか？	6	説明会等でいただいたご意見をまとめて、教育委員会で協議して平成23年中に案をとり、計画として策定したいと考えております。 区立幼稚園の設置は条例で定められています。実施計画とは別に、区立幼稚園の廃止条例案を平成24年度中に提出していきたいと考えております。
(8) 子育て支援施策を後退させるのか		
頑張っている人たちのために、区民に優しい区立幼稚園を残してほしい。	5	区立幼稚園は3園を維持していく予定です。子育て支援施策は、区全体として、今後も進めていきます。
(9) 財政効果はどのくらいか		
財政を廃園の理由としながら、具体的な数字も計画も示されていない。区所有と都住宅局と都住宅供給公社所有とでは、年間維持費がどのくらい差があるのか。	3	平成22年度の区立幼稚園の経費は約3億9千万円で、これが5分の3になるわけではありませんが、相応の財政効果は出る見込みです。土地所有の形態によって、年間維持費が異なるわけではありません。
区立幼稚園の役割 (38件)		
(1) 光が丘地域以外から通っている保護者にも配慮すべき		
光が丘の幼稚園という説明だが、区立幼稚園なのだから光が丘地域以外の区民も通う権利がある。	10	光が丘地区の区立幼稚園4園は、同地区の開発に伴う就園需要に対応するために整備してきたものですが、同地区以外から光が丘地区4園に通園している園児の割合が70%以上にまで増加しています。充員率が約40%という状況や、各園が比較的近い距離にあることを考慮し、適正配置を実施していきます。
(2) 区立幼稚園の長所・役割		
のびのびとした教育が気に入って区立幼稚園を選んだ。素晴らしい区立幼稚園を残してほしい。	10	区立幼稚園を評価していただき、感謝します。残る区立幼稚園においても、高い教育水準を維持していきます。
(3) 私立幼稚園は経済的に困難		
私立幼稚園は経済的に負担が大きい。通える範囲に区立を残してほしい。	8	区では、私立幼稚園にお子さまを通わせている保護者に対して、保護者全員を対象とし入園時に40,000円を支給する「入園児保護者補助金」、所得にかかわらず毎月の保育料に対し年額134,400円を支給する「保護者負担軽減費補助金」、所得に応じて年額0～303,000円を支給する「就園奨励費補助金」により負担軽減を図っています。

区立幼稚園適正配置実施計画(案)に対するご意見と教育委員会の考え方

ご意見・ご要望	件数	教育委員会の考え方
(4) 適正配置というならば、光が丘以外にも区立幼稚園を作るべき		
区立幼稚園のある場所が不公平である。「原則徒歩」というならば、どこに住んでいても通園できるようにするべき。西側2園の廃園は、徒歩通園可能な人をさらに減らす。	6	練馬区では長年、私立幼稚園を主体に幼稚園教育を行ってきており、区内全域から徒歩通園できる区立幼稚園を保障することは困難です。
(5) 園児が減って廃園する前に、3年保育など園児を増やす努力をしないのか		
区立幼稚園は子供を増やすための努力をしたのか。3年保育など、努力しないで子供が少ない、というのは納得できない。	4	区立幼稚園の幼児教育については、これまでも充実を図ってまいりました。しかし、3年保育については、私立幼稚園との関係があり、私立の経営を圧迫することにもつながりかねないため、実施は困難です。
適正配置の園数と選定理由 (32件)		
(1) 廃園予定2園の選定理由に疑問がある		
なぜ あかね幼稚園とわかば幼稚園が廃園予定園として選定されたのか。西側2園、教室数が多い2園を廃止するのは納得できない。	20	南北の地域バランス、幼稚園と保育園、小学校との距離、土地や建物が区の所有かどうか、などの各要素から総合的に判断して2園に決めました。
(2) なぜ2園廃園なのか		
2園も廃園しなければならないのはなぜか。	8	平成23年5月1日現在、光が丘地区4園の4歳児の園児数は148名であり、むらさき幼稚園とさくら幼稚園の定員の合計は168名です。つまり、むらさき幼稚園とさくら幼稚園の定員の合計の方が多いという状況です。 また、平成24年度新入園児募集においても、光が丘地区4園の4歳児の入園希望者は138名です。2園を廃園しても、区立幼稚園への入園は可能であると考えています。光が丘地区4園の充員率が約40%であることを考えると、2園の廃園が適正であると考えています。
(3) 残る園は遠くて通えない		
残る2園の幼稚園は家から遠くて、通うのは大変。わかば(あかね)幼稚園を残してほしい。	4	適正配置で2園を廃園する場合、どの2園を廃園しても、通園距離が長くなってしまう地域が出てしまいます。地域バランスも含めて総合的に判断しました。
適正配置の方法 (17件)		
(1) 廃園ではなく統合にできないか		
2園廃園ではなく、統合・合併にしてほしい。単学年では、毎日の生活も行事も寂しくなる。	8	区立幼稚園には通学区域がないこと、4歳児、5歳児の2年保育であることから転園を前提とした統合・合併ではなく、園児募集を停止する方法で適正配置の実施を考えています。在園児がいるなかでの廃園・統合というのは望ましくないと考えています。

区立幼稚園適正配置実施計画(案)に対するご意見と教育委員会の考え方

ご意見・ご要望	件数	教育委員会の考え方
(2) 10名未満でも学級編制してほしい		
平成24年度新入園児募集において10名未満でも学級編制をおこなってほしい。	7	10名未満の場合は学級編制しない、という基準については、保護者やお子さまへの影響を考慮して、平成24年度新入園児について、10名未満でも学級編制を行うこととしました。
(3) 残る園の対応		
さくら幼稚園とむらさき幼稚園の改修予定はあるか？ 障害児のお子さんが増えたら、補助する人も増えるのか。	2	学校のときのような大規模な修繕計画はありません。ロッカーなどはもちろん人数分を用意します。支援が必要なお子さんに対しては、必要な支援員を配置していきます。
単学年になったときの対応 (15件)		
(1) 単学年になったときの具体的な対応を明らかにしてほしい		
単学年になった場合の教育は、具体的に、どういときに何回交流するのか。運動会はどうするのか。出願までに、月に何回、どういう形で交流する、と示してもらわないと、(単学年となるあかね幼稚園に申し込むかどうか)判断できない。	6	他園との交流等については、新年度の教育課程を編成する際に、各園の運営計画について具体的に検討していきます。未就園児保育利用者との交流の充実や、合同行事など異年齢児との交流の機会をつくっていきます。また、単学年ならではの保育内容の充実も今後検討していきます。
(2) 単学年になったときが心配		
単学年になった時、子供の心の成長が心配である。単学年になると先生や保護者の数も減って、イベントなどができなくなるのでは	8	各園で実施する未就園児保育や他の区立幼稚園との交流を通じて、単学年になった後も、幼稚園教育の充実を図っていきます。
(3) 単学年前提は不公平		
単学年を前提とするのは、同じ区立に通いながら教育的に不公平。	1	各園で実施する未就園児保育や他の区立幼稚園との交流を通じて、単学年になった後も、幼稚園教育の充実を図っていきます。
適正配置後の定員と抽選方法 (14件)		
(1) 抽選になった場合の優遇措置		
あかね幼稚園とわかば幼稚園は廃園のため、単学年を懸念している保護者が、さくら幼稚園、むらさき幼稚園へ入園希望した場合、希望が集中して抽選になったとき、兄弟がいる場合、優先されるのか。さくら幼稚園とむらさき幼稚園の未就園児保育に通っていた場合、優先されるのか。園までの距離とか考慮するのか。	9	同じ幼稚園に年子で通わせたい場合に、抽選で落ちてしまうと通園が大変というご意見があり、在園児の兄弟の場合には抽選の対象とはしません。

区立幼稚園適正配置実施計画(案)に対するご意見と教育委員会の考え方

ご意見・ご要望	件数	教育委員会の考え方
(2) 残る園の定員は増えるのか		
<p>来年度はどのくらい定員が増えて何クラスになるのか。わかば幼稚園の年少は44人いるが、44人がむらさき幼稚園に行ったら今の定員では入れない。</p>	2	<p>平成23年5月1日現在、光が丘地区4園の4歳児の園児数は148名であり、むらさき幼稚園とさくら幼稚園の定員の合計は168名です。つまり、むらさき幼稚園とさくら幼稚園の定員の合計の方が多いという状況です。</p> <p>また、平成24年度新入園児募集においても、光が丘地区4園の4歳児の園児数は138名です。2園を廃園しても、区立幼稚園への入園は可能であると考えています。</p> <p>また仮に、定員を上回る応募があった場合、若干名の超過であれば、全員を受け入れる方向で検討します。</p>
(3) 残った区立幼稚園で抽選にならないよう対策を考えてほしい		
<p>さくら幼稚園は遠すぎるので、むらさき幼稚園に応募が集中するのではないか。残った区立幼稚園が定員オーバーになって抽選とならないよう対策を考えてほしい。</p>	2	<p>むらさき幼稚園とさくら幼稚園の位置を考えると、残った2園どちらでも行ければよい、というわけではなく、近くの幼稚園を、という声があるのは承知しています。定員を上回る応募があった場合、若干名の超過であれば、全員を受け入れる方向で検討します。</p>
(4) 第二希望制度 (1件)		
<p>むらさき幼稚園とさくら幼稚園に、ちょうど半分ずつ希望が分かれるわけではない。第一希望、第二希望、という制度ができるのか。</p>	1	<p>今後、申込の際に第一希望、第二希望と申し込めるような制度の導入を検討していきます。</p>
私立幼稚園の受け入れ状況 (5件)		
(1) 私立幼稚園入園者に対するフォローはあるか		
<p>周辺の私立幼稚園へ4歳児入園者についての協力要請などしているのか。</p>	4	<p>私立幼稚園協会には、区立幼稚園の適正配置の検討を進めるうえで、受け入れについて協力してほしい、と要請し、了解をいただいています。今後とも、教育委員会として、私立幼稚園協会に対して要請していきます。</p>
(2) 私立幼稚園の受け入れ状況を把握しているか		
<p>今、願書をもらいに来ている親御さんが、さかえ幼稚園や高松幼稚園に問い合わせたとき、定員いっぱい、と言われたという噂も聞いている。区立に行こうと思っていた人が、希望の区立幼稚園に入れなかったとき、私立幼稚園に行くことが考えられるが、私立幼稚園の受け入れ状況は把握しているか。</p>	1	<p>私立幼稚園協会には、区立幼稚園の適正配置を受けて、受け入れについて協力してほしい、と要請し、了解をいただいています。今後とも、教育委員会として、私立幼稚園協会に対して要請していきます。</p> <p>各園の受け入れ状況については、可能な範囲で把握に努めています。</p>
跡施設の利用について (9件)		
<p>廃園後の跡施設利用が白紙なのはおかしいのではないか</p>	9	<p>跡施設については区全体で検討していきます。地域の方々や保護者の意見を聞いて対応していきます。</p>

区立幼稚園適正配置実施計画(案)に対するご意見と教育委員会の考え方

ご意見・ご要望	件数	教育委員会の考え方
その他 (7件)		
(1) 廃止予定園で上の子が使っていたものを、他の園で使えるか		
わかば幼稚園で上の子が使っていたものを、むらさき幼稚園に持って行けるのか。	2	園帽や園服などについては、買い揃えていただくことになると思います。各園では、こうした物品のリサイクル活動も実施しており、今後も継続していきます。
(2) 自転車通園が増えた場合、駐輪スペースは確保されているか		
廃園になると遠くまで通う人が増えて、自転車通園が増えると思うが、むらさき幼稚園とさくら幼稚園に駐輪スペースは用意されているのか。	1	各園とも駐輪スペースはあります。
(3) 廃止予定園での同窓会の対応は		
廃園幼稚園の卒園児の同窓会について、卒園児の交流について、どう考えているか。	1	同窓会については、それぞれの卒園児の方たちでやっていただくものと考えています。
(4) 行政改革の趣旨とずれている		
独裁的な政策であり、行政改革の趣旨とずれているのではないかと。何が目的か不明確である。優先順位を再検討すべきである。	1	区立幼稚園の適正配置は、区の行政改革推進プランにも位置づけられています。区立幼稚園の園児数減少が止まらない状況において、適正配置は急務であると考えています。
(5) 閉園時の組織体制・職員配置について		
閉園時の組織体制および職員配置は考慮してほしい。	2	職員配置については、在園児への影響ができるだけ少なくなるよう配慮していきます。